

# 宮城牛タンラウンドの報告

## ■ 1 目的

北海道・東北各県の体育・保健体育科に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とする。また、九州及び北海道・東北から、日本をサンドイッチして実践の情報を発信する。

## ■ 2 期日

平成29年7月8日（土） 13時30分～17時00分

## ■ 3 場所

仙都会館 会議室5F-A

〒980-0803 仙台市青葉区中央2丁目2-10 ※仙台駅下車 徒歩5分

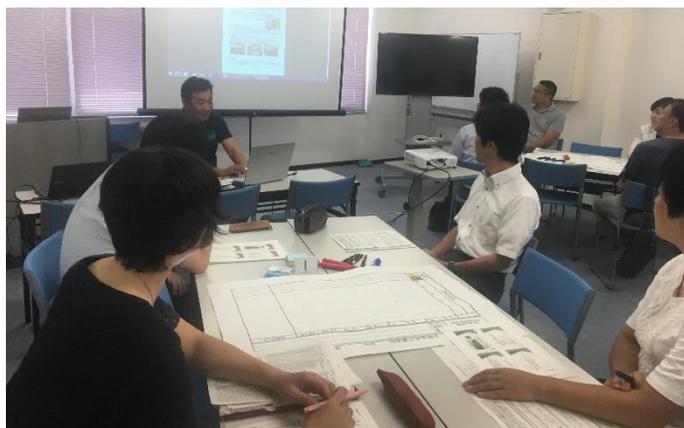
## ■ 4 日程

1230	1300	1330	1340	1410	1415	1440	1450	1620	1630	1700	1730	
受付・準備	開会行事	オープニング	話題提供	休憩	発表表	休憩	ワークショップ	休憩	振り返り	閉会行事	移動	情報交換会
	桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊	国形有希 教育課程調査官 高橋 修一		富谷立東 教諭 石田 雄一			単構造学習		桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊			

## ■ 5 報告

### (1) オープニング

桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊



初めて参加される方もいらっしゃいましたので、保健体育科ネットワークの趣旨を佐藤豊先生から説明していただきました。

豊先生の話で会場が和やかになるとともに、体育好き仲間という一体感が生まれました。「来週は鹿児島ラウンドです。」というアナウンスを聞いた初めて参加する仲間からは、「本当に日本全国で行われているんだ。」という声が揚がりました。

宮城県も今回で6回目の開催となり、少しずつですが、仲間が広がってきています。

### (2) 話題提供「体育科・保健体育科における主体的で対話的な深い学び」

国立教育施策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官 高橋 修一

新学習指導要領の改訂の要点について高橋調査官から説明していただきました。今回の改訂では、各教科の学習を通して育成を目指す資質・能力を3つの柱に整理されました。また、



各教科において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を活性化していくことも求められています。「体育における主体的で対話的な深い学びとはどういったことだろう。」「ゲームをする時の話合いのことなのだろうか。」などの現場の声を吸い上げ、調査官に話をいただきました。

「主体的で対話的な深い学び」のみではなく、「学びに向かう力・人間性等」とはどうか、どのように評価していけばよいのか、他教科との違いはどんな点なのかなど、皆さんからの疑問を取り上げながら話を進めてくださいましたので、会場全体で共通理解を図っていくことができました。

(3) 実践発表 運動の楽しさや喜びを味わい進んで運動に取り組む児童の育成  
 ー 主体的・協働的に運動に取り組む授業実践の工夫を通して ー

富谷市立東向陽台小学校 教諭 石田 雄一



校内研究で取り組んだ成果を発表いただきました。全教員が体育科における授業展開を児童目線で再構築したことにより、運動に主体的に取り組む姿、目標達成向け話し合う姿、個人や友だちの課題解決へ向けて関わり合う姿が実現されたという実践発表でした。

体育の校内研究を行っているのは、県内において2校のみです。石田先生が中心に研究を進めている富谷市立東向陽台小学校の先生からは、「体育を学び直すことで、

わたし自身が体育の授業を好きになりました。」といううれしい声も届きました。

今後は、体育科で実現した姿を他教科においても実現するようにつなげていくこと、家庭との連携を図り、体を動かす楽しさや心地よさを実感させていくこと等の課題を解決していけるよう努めていくそうです。

(4) ワークショップ

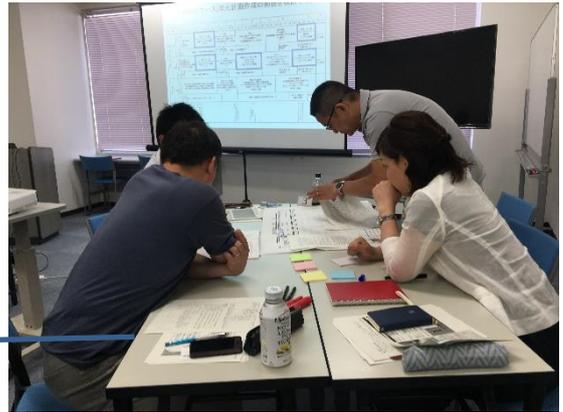
主体的で対話的な深い学びを生む体育科・保健体育科の単元構造図づくり

「せっかくだから、公示された新学習指導要領でやってみましょう。グループで校種も領域も選んでもらいましょうよ。学習指導要領の理解にもつながるので、挑戦、挑戦、大丈夫。」という豊先生の突然のアイディアで、急遽、新学習指導要領による単元構想図ワークショップが始まりました。一同唖然といった感じでスタートしたのですが……。グループでの活動が始まると、新学習指導要領をじっくり読み込むグループ、指導主事が中心になって要旨を抜き出し付箋にまとめるグループ、それぞれの思いを伝え合うグループなど様々なスタイルで活動を進める姿が見られました。



まずは、指導事項を抜き出そう。

小学校はぬき出すのが難しい...



何とか時間内にできあがった！



作成したものをみんなで共有



振り返りの視点を提示



グループで振り返り



新しい学習指導要領のページをめくりながら、グループみんなで考えを出し合い、よりよい年間指導計画を作成する過程は、まさに、主体的で対話的な深い学びそのものでした。小学校・中学校・大学の教員、指導主事などそれぞれの立場から学習指導要領を読み解き、年間指導計画を作成する活動はとても贅沢な学びの時間を感じました。

参加した皆さんからは、「疑問に思っていたことが解決した。」「皆さんとつくった計画を早速試したい。」「学校で共有してみんなの財産にしたい。」「他県の取組が分かり有意義な時間だった。」等の感想を得ました。ラウンドならではの有意義な時間を皆さんと共有できました。

(5) 完成した単元構想図

ネット型の簡易単元構想図 小学校：5・6学年

学習目標	(技能) 個人でチームによる攻撃・守備に必要となる技術を習得し、ゲーム中に活用する。 (態度) 運動に積極的に関わり、チームの勝利に貢献しようとする意欲をもち、仲間を応援する。 (知・思) 礼儀正しく、自己やチームの役割を認識し、責任をもち、仲間と協力して課題を解決する。															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
学習の流れ	ボール使用の準備運動、走、ドリブル、パス、シュート、ゴールキーパー、リレー、ゲーム															
評価	知識、技能、態度															

小学校第5・6学年  
ボール運動（ネット型）

中学校第1・2学年  
球技（ネット型）

ネット型の簡易単元構想図 中学校：1・2学年

学習目標	(技能) ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に立つなどの動きに慣れ、ゲーム中に活用する。 (態度) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアプレーを重んじ、仲間を応援する。 (知・思) 攻守両方の役割を認識し、チームの勝利に貢献しようとする意欲をもち、仲間を応援する。																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
学習の流れ	準備運動、パス、ドリブル、シュート、ゴールキーパー、ゲーム、課題練習、試合																					
評価	知識、技能、態度																					

ゴール型の簡易単元構想図 中学校：1学年

学習目標	(技能) 安定したボール操作やパス、ドリブル、シュートなどの動きに慣れ、ゲーム中に活用する。 (態度) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアプレーを重んじ、仲間を応援する。 (知・思) 攻守両方の役割を認識し、チームの勝利に貢献しようとする意欲をもち、仲間を応援する。															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
学習の流れ	ボール使用の準備運動、パス、ドリブル、シュート、ゴールキーパー、ゲーム															
評価	知識、技能、態度															

中学校第1学年  
球技（ゴール型）

小学校第5・6学年  
表現運動（表現）

表現運動（表現）の簡易単元構想図 学校：小学校 5・6

学習目標	(技能) ボール操作やパス、ドリブル、シュートなどの動きに慣れ、ゲーム中に活用する。 (態度) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアプレーを重んじ、仲間を応援する。 (知・思) 攻守両方の役割を認識し、チームの勝利に貢献しようとする意欲をもち、仲間を応援する。															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
学習の流れ	ボール使用の準備運動、パス、ドリブル、シュート、ゴールキーパー、ゲーム、発表会															
評価	知識、技能、態度															

中学校第1・2学年  
球技（ゴール型）

ゴール型の簡易単元構想図 中学校：1・2学年

学習目標	(技能) 安定したボール操作やパス、ドリブル、シュートなどの動きに慣れ、ゲーム中に活用する。 (態度) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアプレーを重んじ、仲間を応援する。 (知・思) 攻守両方の役割を認識し、チームの勝利に貢献しようとする意欲をもち、仲間を応援する。															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
学習の流れ	ボール使用の準備運動、パス、ドリブル、シュート、ゴールキーパー、ゲーム															
評価	知識、技能、態度															